年　　月　　日
仕様書番号 HST-SS30-3005D

仕　様　書

６００Ｖ
ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形
（２００回路用　セパレートアース線付き）
［記号　：　セパレートアースＶＶＦ　２００カイロ，
ＶＶＦ　２００カイロ（セパレートアース）］

住電ＨＳＴケーブル株式会社

１．　適　用　範　囲

本仕様書は、電気用品安全法及び電気設備技術基準に基づく題記電力用ケーブルに適用する。

関連規格　：　JIS C 3342
　　JCS　4519

２．　品　名　略　号

セパレートアースＶＶＦ　２００カイロ	２	×	２．０	ＭＭ	＋	１	×	１．６	ＭＭ
ＶＶＦ　２００カイロ（セパレートアース）	２	×	５．５	ＳＱ	＋	１	×	１．６	ＭＭ
	（線心数）		（サイズ）			（線心数）		（サイズ）	

3.　構造及び材質

構造及び材質は次のとおりである。

３．１　電　力　線

(1)　導　　体　：　電気用軟銅線の単線及びより線。
　　より線は最外層Ｓより。

(2)　絶　縁　体　：　ビ　ニ　ル
　　平　均　厚　：　構造表の値の 90 % 以上
　　最　小　厚　：　構造表の値の 80 % 以上

(3)　線心識別　：　絶縁体又は絶縁体表面の色別による。

　　２心　　：　黒、赤

(4)　シ　ー　ス　：　ビ　ニ　ル
　　平　均　厚　：　構造表の値の 90 % 以上
　　最　小　厚　：　構造表の値の 80 % 以上
　　色　　：　シース又はシース表面の色により灰とする。

３．２　アース線

(1)　導　　体　：　電気用軟銅線の単線とする。

(2)　被　　覆　：　ビ　ニ　ル
　　最　小　厚　：　構造表の値の 80 % 以上
　　色　　：　被覆又は被覆表面の色により緑とする。

３．３　表　　示　：　電力線のシース表面に、下記事項を連続表示する。

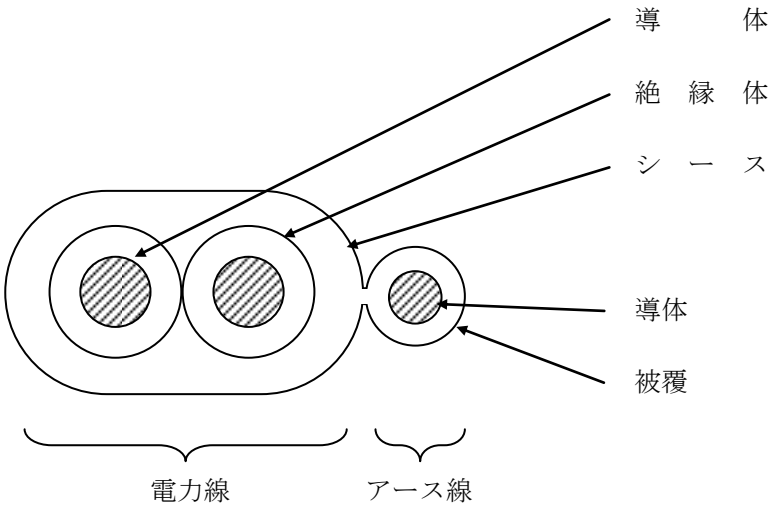
(1) ２００Ｖ回路である旨の表示(２００カイロ)
(2) ブランド名（ＨＳ＆Ｔ　Ｃａｂｌｅ）
(3) 電気用品安全法による表示（＜ＰＳ＞Ｅ）
(4) 製造業者名又はその略号
(5) 電線の記号（ＶＶ）
(6) 製造年（西暦年号）又はその略号
(7) 鉛フリービニルである表示（ＬＦＶ）

２×５．５ＳＱ＋１×１．６ＭＭ はアース線の共通被覆表面に、下記事項を連続表示する。

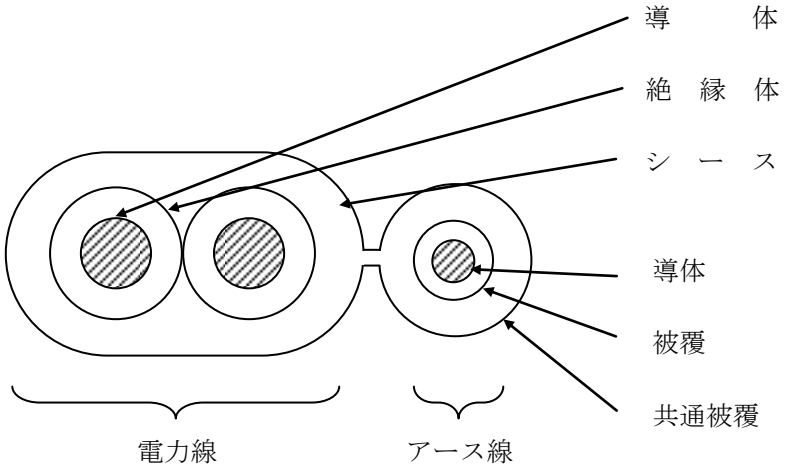
(1) アース線
(2) ブランド名（ＨＳ＆Ｔ　Ｃａｂｌｅ）
(3) ライン

３．４　ケーブル断面図

２×２．０ＭＭ＋１×１．６ＭＭ



２×５．５ＳＱ＋１×１．６ＭＭ



4．　特性及び試験方法

<table>
<tr><th colspan="3">項　　目</th><th>特　　性</th><th>試　験　方　法</th></tr>
<tr><td colspan="3">導　体　抵　抗（電力線、アース線）</td><td>付表の値以下</td><td>JIS C 3005による</td></tr>
<tr><td colspan="3">耐　　電　　圧（電力線、アース線）</td><td>付表の電圧に１分間耐えること</td><td>JIS C 3005による</td></tr>
<tr><td colspan="3">絶　縁　抵　抗（電力線、アース線）</td><td>付表の値以上</td><td>JIS C 3005による</td></tr>
<tr><td rowspan="4">引張</td><td rowspan="2">絶縁体</td><td>引張強さ</td><td>10 MPa 以上</td><td rowspan="4">JIS C 3005による</td></tr>
<tr><td>伸　　び</td><td>100% 以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">シース</td><td>引張強さ</td><td>10 MPa 以上</td></tr>
<tr><td>伸　　び</td><td>120% 以上</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">加　熱</td><td>引張強さ</td><td>加熱前の値の 85 % 以上</td><td rowspan="2">JIS C 3005による
(100℃±2℃×48時間)</td></tr>
<tr><td>伸　　び</td><td>加熱前の値の 80 % 以上</td></tr>
<tr><td rowspan="4">耐油</td><td>管状</td><td rowspan="2">引張強さ</td><td>浸油前の値の 85 % 以上</td><td rowspan="4">JIS C 3005による
(70℃±2℃×4時間)</td></tr>
<tr><td>ﾀﾞﾝﾍﾞﾙ状</td><td>浸油前の値の 80 % 以上</td></tr>
<tr><td>管状</td><td rowspan="2">伸　　び</td><td>浸油前の値の 85 % 以上</td></tr>
<tr><td>ﾀﾞﾝﾍﾞﾙ状</td><td>浸油前の値の 60 % 以上</td></tr>
<tr><td colspan="3">巻　付　加　熱</td><td>表面にひび･割れを生じないこと</td><td>JIS C 3005による</td></tr>
<tr><td colspan="3">低　温　巻　付</td><td>表面にひび･割れを生じないこと</td><td>JIS C 3005による</td></tr>
<tr><td colspan="3">耐　　寒</td><td>試験片が破壊しないこと</td><td>JIS C 3005による(－15℃)</td></tr>
<tr><td colspan="3">加　熱　変　形</td><td>厚さの減少率 50 % 以下</td><td>JIS C 3005による</td></tr>
<tr><td colspan="3">難　　燃</td><td>60秒以内で自然に消えること</td><td>JIS C 3005による
(60度傾斜試験)</td></tr>
</table>

5．　受　渡　試　験　項　目

完成品は下記試験を行う。

(1)　構造試験
(2)　導体抵抗試験
(3)　絶縁抵抗試験
(4)　耐電圧試験

6．　そ　の　他

アース線は電力線から引き裂けやすくなっておりますので、布設時にはケーブルに無理な力が加わらないようにご注意下さい。またアース線をナイフ等で引裂く際に、シース及び被覆に傷をつけないようご注意ください。

ご使用の都合により、特定のケーブル外径公差を必要とされる場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

構　造　表

セパレートアースＶＶＦ　２００カイロ　　２×２．０MM＋１×１．６MM

	導体径（参考）	絶縁体厚さ（※）	シース厚さ	仕上り外径（参考）	導体抵抗（20℃）	試験電圧	絶縁抵抗（20℃）	概算質量
	mm	mm	mm	mm	Ω/km	V/1分	MΩ・km	kg/km
（電力線）	2.0	0.8	1.5	6.6×13.5	5.65	1 500	50	140
（アース線）	1.6	0.8	―		8.92	1 500	50	

（※）　アース線は被覆厚さを示す

ＶＶＦ　２００カイロ（セパレートアース）　　２×５．５ＳＱ＋１×１．６MM

	導体				絶縁体厚さ（※1）	シース厚さ（※2）	仕上り外径（参考）	導体抵抗（20℃）	試験電圧（20℃）	絶縁抵抗	概算質量
	導体径（参考）	公称断面積	構成	外径（参考）							
	mm	mm^2	本/mm	mm	mm	mm	mm	Ω/km	V/1分	MΩ・km	kg/km
（電力線）	―	5.5	7/1.0	3.0	1.0	1.5	8.0×19.5	3.33	1 500	50	269
（アース線）	1.6	―	―	―	0.8	1.5		8.92	1 500	50	

（※1）アース線は被覆厚さを示す
（※2）アース線は共通被覆厚さを示す